

様式2

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 静岡県立伊豆中央高等学校

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	静岡県立伊豆中央高等学校 生徒 607人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体育 ） 行事名（ オリンピック教育講演会 ） ② その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピックとの交流を通して目標を持ち、努力することの大切さに改めて気付くとともに、自己に置き換え、今後の人生の生き方を見つめなおす機会とする。また、高いオリンピズムを感じ、挑戦や努力することの大切さや、国際的な視野を身に付け、社会貢献できる人材を育てる機会とする。
5 取組内容	① 事前学習の授業等を通して、オリンピック・パラリンピックの歴史、競技種目、ルール、アスリートとしての努力、苦悩、生き方に関する内容を取り入れる。 ② オリンピアン講演会の開催。    

6 主な成果	どの分野でもトップで活躍している方との触れ合いは、生徒の様々な興味を引き出してくれるきっかけになりやすいと感じた。今回のオリンピック教育講演により、このトップアスリートの思考の視点は、今後の人生の様々な場面において参考となると思う。 ・練習に取り組む際の気持ちの在り方が、本番でのパフォーマンスにつながっていく。 ・同じことを続けていくためのモチベーションの上げ方の工夫が必要である。 ・一流のアスリートになるためには、フィジカル面だけでなく、メンタル面が重要である。 ・スポーツを通じていかに人間性を高めていくかが重要であり、引退後の人生につながっていく。 ・新体操の手具の説明や演技の実演を通して、競技への理解を深めた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	事前指導をきちんと行ったこと。 種目の説明や理解。映像で見せること。オリンピックとはどういう経緯で始まったのかの概要等。
8主な課題等	こうした機会は、生徒にとって良い経験になると思うので、前年度から計画されていれば、講演者の選定や時間の確保（年間行事計画に組み込む）などについて、より教育効果の高い取り組みとするために時間をかけて検討することができたと思う。
9来年度以降 の実施予定	オリンピック等の貴重な体験談は、生徒にとって良い経験になるため、次年度もこの事業が継続されるならば企画したい。